

ペースト施肥田植機専用

有機入り

セイワペースト



 清和肥料工業株式会社

Copyright SEIWA Fertilizer Ind. Co., LTD



ペースト肥料の特性

1

ペースト肥料の利点

- 肥効の発現が早い
特に寒冷地の初期生育、初期分けつ確保に有効
- 雨に強い、天候に左右されず施肥・田植え作業

ペースト肥料の欠点

- 一般の化成肥料に比べやや早く肥切れする
- 後日調整肥を必要とする場合がある
- 専用の施肥田植機を必要とする

ペースト肥料の注意

- 低地温・水温でも肥効が速い
化成肥料に比べて、施肥量を2割ほど減らす
- 必要に応じて調整肥を施用する

銘柄	保証成分 (%)			
	窒素全量	内アンモニア性窒素	水溶性りん酸	水溶性加里
有機入りセイワペースト 2号	12.0	2.0	12.0	12.0
有機入りセイワペースト 3号	12.0	2.0	15.0	10.0



20kg包装



お得な1,000kg包装



適度な粘度・セイワペースト

- 一般的な施肥量：30～40kg/10a (慣行施肥量の2割減)
コシヒカリ等、節間の長い品種にはセイワペースト3号
- 肥効が早く寒冷期でも初期生育と初期分けつを確保
反面、肥切れが早く、調整肥が必要なことも
- 適度な粘度・施肥位置に留まり確実な肥効
- コーン発酵総合栄養液(CSL)配合・・・根の発達を促す

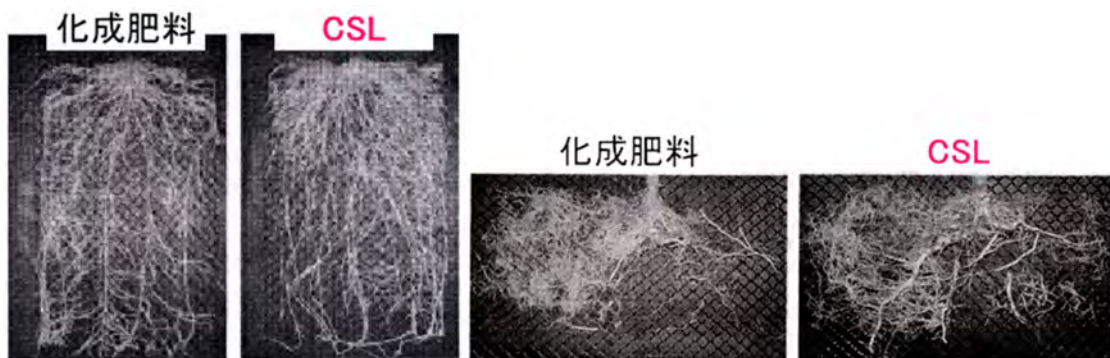


図 CSLを液肥として使用した養液土耕トマトの根 (中野ら2001)

- ・ペースト肥料側条施肥田に特有の初期生育停滞が発生することがある
- ・移植後30～40日ころの5月下～6月上旬に発生
- ・分げつ停止、草丈の伸長停止、下葉の黄化、根痛みはなし
- ・乾田・湿田の区別なく、苗質や品種間差はない



図 ペースト肥料側条施肥田の硫黄欠乏症(辻2000)

注意
窒素欠乏に酷似

- 原因**
- ・ペースト肥料に含まれる易分解性有機物の急速な分解に伴う根近傍の土壤還元の発達
 - ・土壤還元による一時的な硫酸根(可給態硫黄)の減少
 - ・粘質田などの「わき」(異常還元)によって誘発される
- 対処**
- ・落水し、硫酸苦土(硫マグ)5～20kg/10aを施用する
 - ・硫安でも回復するが窒素が残るので後期栄養に影響
- 対策**
- ・塩安・塩加中心の施肥を見直す
 - ・入水時期を遅らせる
 - ・冬場の排水対策など乾田化を図る
 - ・代かき時にこねすぎない

